



R6.4.1 入職式 永年勤続表彰



里だより

No.388

令和6年5月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550




FAX 096-293-1579



令和6年度がスタート☆

新職員6名の辞令交付、
永年勤続の職員には
表彰と記念品贈呈を
行いました!!



	編集後記……………7	
	新入職員あいさつ……………6	
	行事予定・ ありがとうございました・	
	行事報告……………5	
	サービス向上委員会より……………4	
	職員より・事務局より……………3	
	主任より……………3	
	業務部より……………2	
	施設長より……………1	
	(ページ)	
	五月号もくじ	



施設長より

グループホーム



昨年度の里だよりでは、グループホームの寄稿をしていませんでしたので、少し状況をお伝えしたいと思います。

グループホームは、本体施設から七百メートルほど離れた所に二棟建っています。『すぎな』は平成十七年、『つくしんぼ』は平成二十一年に開設しました。現在、合わせて十六名の方が利用されています。

グループホームは福祉サービス事業所ですが、在宅という位置づけが強くなります。ただ、共同生活ですので、一定のルールを設けて皆さんが快適に生活できるように取り組んでいます。利用者さんの状態やそれぞれの生活への希望で退所されています。利用ありましたが、平成十七年からご利用いただいている方は、今年で十九年目になります。平均障害支援区分四・六九。最高齢者七十六歳。最年少者二十三歳。平均年齢五十六・三歳。六〇歳以上の方は半数に上り、三名の方が日中は高齢者の通所介護（デイサービス）を利用されています。令和二年の日本知的障害者福祉協会が行った調査では、全国のグループホームの六〇歳以上の入居率は、二十四%でしたので、当ホームの高齢化率がいかに高いかが分かります。

入居される経緯は、本体施設から移られた方や在宅生活からの方などです。入所施設もそうですが、グループホームでの生活は、共同生活ではあるものの、なるべくご自宅の生活に近づけたいと思っ

ながら、衣食住や嗜好・健康・外出等に関することに配慮する必要があります。最近は特に健康面への配慮に重きを置くケースが増えています。年齢相応の疾病が出てきたり、私たちと同じように、食べ物の過不足によっては、健康面へも影響を及ぼします。

特に、嗜好品については、ご本人にお任せしていると誘惑も多いうようで、調整が難しくなります。嗜好品がダメなわけではなく、場合によっては限度が必要になってきます。ご本人に、通院の結果やご自分の現状をお伝えし、納得できる線引きをすることになります。意思決定支援を進めるうえで、きちんと情報を提供することは必要なことです。年を重ねると共に、高血圧などの高齢者に多い疾病も出てきました。食事も味が濃いものを好まれる方には、高血圧の危険もお伝えしなければなりません。

この他、利用者さんの希望で全室にBSを引いています。皆さん、楽しみに視聴されます。休日には、二時間ものの時代劇やサスペンスドラマを延々と…。中には夜遅くまで視聴され、翌日は眠たくて日中活動もおぼつかないケースも。そのような時は、一概にテレビやBSがダメではなく、生活のリズムの乱れが、健康面にも及んでくること、そうなたら楽しみにしていることも出来なくなることをお伝えしています。逆に、こんなケースもあります。在宅生活において生活習慣病を発症されて入居された方が、グループホームを利用して適切な栄養管理のもと血液検査の数値も落ち着き、毎日の医療処置が不要になることもありました。

身体面の低下については、やはり足腰から衰えは来るよう、歩行がぎこちなくなったり、転倒が増えたり、靴の脱ぎ履きに支えや椅子が必要になるケースも出てきましたので、日頃の運動を推奨しています。デイサービスに通われている方は、帰ホーム

時に「体操頑張った!」と話されます。先のことも見越して、若い方も含め健康維持・介護予防に努める必要が出てきていると感じています。

利用者間のトラブルも起こります。先述したように年齢差、性別や障害特性により課題もそれぞれです。日中の出来事や他者の言動が気になったり、加齢からくる視力・聴力低下によるコミュニケーション不足や勘違いによるトラブルなどがあります。スタッフは両者の間に入り、状況・情報の整理や関係性の調整を行います。中には事業所だけでは解決できないものやご家族にも協力いただかなければならないものもありますので、ケースによってはその都度ご相談させていただいています。

ここまで述べた課題や目標は、利用者さんとの話し合いの上、支援計画の目標に掲げ、日頃の改善項目の一つとして取り組んでいます。今期の支援計画もスタートしました。利用者さんが安心して生活できるようにケアをしていきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

早速、ゴールデンウィークに長期の外泊をされる方がいらっしやいます。ご家庭でタガが外れ「過ぎ」ませんように。

※二〇二二年十一月に公開された「梅切らぬバカ」という加賀まりこさん、塚地武雅さん出演の映画があります。人それぞれに合った支援を考えさせられる内容です。グループホームのみならず障害福祉に携わる方に見ていただきたい一本です。

施設長 松永 一博

業務部より

人材確保（令和六年度は）

桜の開花は例年より遅かったですが、気付けば満開、そして現在は葉桜になってしまいました。いよいよ新緑の季節です。



さて、人材確保の状況については、この「業務部より」でも度々お伝えしてきましたが、令和六年度スタート時には、新卒四名、中途採用二名の計六名を迎えることができました。五月一日付で、あと一名の採用を予定していますので、窮屈になっていた日課等を改善していきます。

職員数が増えたことは純粋に嬉しいですが、これで安心ではなく、今からが本番だと思っています。就職してくれた人たちに長く勤めてもらえるように、在職中の職員が退職を考える状況にならないように、課題は山積んでいます。

職員一人ひとりには、利用者さんのことを思って一生懸命に支援にあってくれています。ただ、配属された班、グループ、職責によっても見方や考え方が変わり、お互いの理解が十分に得られないケースがあります。そのことが結果的に不信感やストレスになり、退職を考える原因になったりするかもしれません。そうした状況にならないように職員間のコミュニケーションが大事です。

また、役職者の立場としては、職員からの話しを聞いたままにせず対応をとる。提案のとおりにはできなかつた場合は、何故できなかつたかを丁寧に説明する。気になる場面では声をかける等の配慮が必要です。

過去を振り返ると、つくしの里ではコミュニケーションも役職者の対応も少し足りなかったように感じます。

今年度の事業計画の重点課題に「人材育成」があり、人材育成・人材定着・人材確保を謳っています。私も役職者の一人ですので、自分の業務に追われるばかりではなく、職員の話しにしっかり耳を傾け、違和感を覚えた時には声をかけることで、人材育成と人材定着の手がかりにしたいと思えます。会話の引き出しが少ないのが心配ですが、話しながら増やしていくことにします。

新人を迎え、施設の中には清々しく爽やかな風が吹いている気がします。その風を受けて色々なことが良い方向に進んでいくように、月並みですが初心にかえって頑張ります。

事務長 光永 明日美

主任より

先日、志岐の島へ家族旅行しました。私が幼少期に行った覚えがあり、母親がその頃を懐かしみ、「また行きたい」という想いを募らせ、今回行くことになりました。私は古い民宿と海と猿岩を覚えていて「とても楽しかった!」という思い出もなく、期待もなかったのですが…。

旅した二日間は気温が二十一度ほどで晴天。空気は澄んで島全体も海も隣の島も見えるような景色でした。二度目となる猿岩は、新緑の木々を背にして横向きで静かに佇んでいて、「本当に猿だ」

と単純に感動する自分がいました。観光地の歴史にも関心を持ち博物館へ。主に縄文弥生時代を映像やフィギュアで分かりやすく展示してありました。歴史は苦手ですが、その頃の生きざま、人間模様も表現され、親しみをもって楽しめました。宿泊所の食事も温泉も堪能しました。

その地に行って、二度目なので見た事あると思って、五感を通して感動して、また違う感覚が味わえるんだなど、不思議な余韻が続いています。

新年度が始まり「外出や行事など、今年度は何をしたいですか」と利用者の方に尋ねると、楽しみなことを答える人、返答が難しい人もいるでしょう。それでも、施設内のイベントや外出、旅行において、五感で様々なことを感じてほしい。そんな計画をしたいと自分の旅行と重ねて考えさせられました。

先日、つつじの花がぼつぼつ咲き始める頃、「昭和園に行きたい!」と利用者の方に言われました。数年前までは強歩会やつつじ祭り前後に皆でよく行っていた馴染みの場所ですが、そういえば最近行っていないなと思いつきました。久しぶりの場所だからこそ、改めて何かを感じたり、楽しまれたりすることがあると思います。ドライブや外出など身近なところから、利用者さんの満足した笑顔と言葉が聞けたら嬉しいなと思います。

今年はどうなるかを一緒に楽しめるか、私自身も利用者の方と同じくらい楽しみにしています。

主任支援員 池田 亜紀

職員より

私事で大変恐縮ですが、熊本に移住して早 13 年。長男が生まれた年につくしの里へ入職し、早いもので、その長男も先日、無事中学校へ入学しました。

当時、初めて配属された部署が生活介護班 4 班です。その頃と比べると顔ぶれも変わりましたが、日中活動では館外を歩き、日々楽しげに言葉が飛び交う毎日に、とても勇気付けられています。昨年度は初の一泊旅行に行ったり、担当利用者の F さんが大津町のジョギング大会に参加されたり、チャレンジの一年でした。

今年の個人目標として今まで以上に利用者さん一人ひとりに寄り添い、個々の意思を尊重し更なる可能性を見出せるような支援を心掛けていきたいと考えています。

(支援員 外山)

事務局より



コロナの流行により、ご家族の皆さん、来客の皆さんには正面玄関での消毒と検温のご協力をお願いしていましたが、状況も落ち着きましたので、令和 6 年度 4 月から終了することになりました。これまで誰一人嫌な顔をせずご協力頂き、事務職員が消毒と検温を忘れていないと、自ら「消毒と検温します！」と言われ、手や額を出してくださいました。皆様のご協力には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

検温と消毒はなくなりましたが、「面会・来訪簿」は今まで通り継続していきますので、つくしの里にお越しの際はご記入をお願いいたします。今年度も事務職員一同、玄関にて笑顔で元気よく皆さんをお迎えできるように努めますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局 樋口)

サービス向上委員会より



■ 社会参加【主任支援員 長瀬・支援員 上田ナ・村上ク】

委員会を再編し「社会参加」が新設されました。イベント委員会は園内での取り組み、社会参加委員会は施設の外、地域社会へ目を向けた取り組みを行います。

休日日課で職員数の関係上、参加できなかった催し等も、人的(付き添いボランティア)・物的(外部のツアー等)社会資源を活用し、利用者さんが外へ出る機会を作り、楽しみや生活に潤いを持って過ごせるよう計画、調整したいと思います。

障害者の社会参加が進みにくい原因は、一言『大変そう』『難しい』といった先入観や固定観念が強くなると思います。フォーマル、インフォーマルなサービスも含めて考え「車椅子だから(行けない)」「トロミ食だから(食べられない)」「車(移動手段)がないから(難しい)」とあきらめず、お小遣いは少し多く使うかもしれませんが、地域の行事やイベント等も含め、利用者さんのニーズや生活目標に向けて、そして利用者さんの持つ内的資源も活用しつつ、社会資源を上手に組み合わせたいと思います。

(主任支援員 長瀬)

行事報告

※ 3/21 (木) ~4/20 (土) の実施分について報告いたします

★ 駄菓子屋さん【3月19日(火) つくしの里】

サービス向上委員会【イベント】の令和5年度最後のイベントとして、「駄菓子屋さん」を開催しました。券と引き換えに、数種類のお菓子のの中から、利用者さん自身に選んでいただきました。「こんなお菓子が好きなんだ」と新たな発見もできましたし、何より、「これは何?」「チョコがいいかな?」「どれにしよう…」と利用者さんがお菓子を選んでいる表情が忘れられません。嬉しそうにお菓子を持ち、手を振って帰っていく利用者さんは、とても生き生きしていました。(笑)

午後からは各班で一年を振り返り、お茶会をしていただきました。今年度も利用者さん全員が楽しめるイベントを実施していきたいと思えます。(支援員 上田)



★ 施設・後見人・家族情報交換会【3月30日(土) つくしの里】

今回は令和6年度の事業計画についての説明、利用者アンケート集計結果他、事務関係の説明を行いました。又、令和6年度に第三者評価を受審する予定のため、評価機関の方にご来園頂き、ご家族に説明して頂きました。午後からは数年ぶりの班別交流会を実施しました。

1日がかりの情報交換会となりましたが、ご来園いただいたご家族の方、評価機関の方には大変お世話になりました。ありがとうございました。令和6年度もよろしくお願いたします。(支援係長 竹下)

★ 入職式・永年勤続表彰【4月1日(月) つくしの里】

令和6年度は新入職員6名を迎えました。10:00 から学習訓練棟1階で入職式を行い、新入職員代表者が初志を述べ、緊張しながら初々しくも力強い言葉を聞いて期待すると共に、自分達も初心を忘れないようにしたいと思いました。

又、勤続10年(世話人2名・職員2名)、15年(職員3名)、20年(職員1名)の永年勤続表彰も合わせて行いました。支援の中心となる中堅職員達を心強く思います。自分も20年を目指し頑張ります。

新年度を迎え、職員も増えました、新入職員それぞれの強みを見出し、利用者さんにとって「安心」出来る職員になれるように指導しながら、負けずに成長していきたいと思えます。(主任支援員 山中)



行事予定

☆ つくしんピック (つくしの里)

期 日：5月23日(木)

内 容：楽しい競技を準備中です。いきいきグループもきらめきグループも張り切って頑張りましょう♪

5月



☆ 面談・通帳確認 (つくしの里)

期 日：5月1日(水)～31日(金)

内 容：詳しい日程は担当者より連絡させていただきます。ご多忙の折とは存じますが、よろしくお願ひします。

おまちしています



ありがとうございます

今月の掲載分は、

令和六年三月二十一日～

令和六年四月二十日です



新入職員あいきつ

今年度は六名の職員を迎えました。

この場を借りてご挨拶申し上げます。

【支援員 生活介護⑤班】

○伊藤 有希(いとう ゆうき)

入職して、まだ一か月も経っていないのですが、福祉の現場は初めてのことばかりで、多くの学びや発見があり、日々刺激を受けています。これから一つひとつの業務を丁寧に覚え、利用者さんやご家族の方に信頼されるように努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

【支援員 生活介護④班】

○野口 真央(のぐち まお)

福祉の現場は初めてで、戸惑う事も多々ありますが、これから一人前の支援員になれるように日々頑張っていきたいです。大学では美術を専攻していたので、物づくりを通して利用者さんとコミュニケーションしていきたくらいなと思っています。これからよろしくお願ひ致します。

※職員への個人的なご贈答品はいたただかない規則になっておりますので、ご理解の程お願ひ申し上げます。

【ボランティア】

・村里 和洋 様
・木本 ふじ子 様
・カモメ様



誠にありがとうございます。利用者さんの為に使用させて頂きます。



【支援員 生活介護③班】

○ 八木 颯（やぎ はやて）

熊本学園大学の社会福祉学科を卒業しました。ソフトテニス部に所属していましたが、体力には自信があります。つくしの里でも活かしていきたいです。利用者さんの支援に携わり、上手くいく事や、いけない事も経験していく中で、利用者さんに合った寄り添い方を探していきたいです。



【支援員 いきいきグループ】

○ 高尾 愛美子（たかお あみこ）

大学では芸術について学んでいたのですが、利用者の方々と一緒に作品を作ったり、発表したりする機会を作りたいと思っています。また、利用者の皆さんとのコミュニケーションを大切にし、ご家族の皆様にも安心・信頼していただけるような支援員になりたいと思っています。宜しくお願いいたします。

【支援員 いきいきグループ】

○ 村上 達郎（むらかみ たつお）

以前つくしの里の職員として勤務していましたが、御家族様や利用者様の中には、ご存じの方もいらっしゃるかと思います。ですが、初心に戻り利用者様・御家族様と信



頼関係を築けるように一日一日を過ごせたらと思います。よろしくお願いいたします。

【事務員】

○ 樹村 成美（きむらなるみ）

前職は印刷会社でチラシのデータ作成をしていました。福祉関係や事務職は初めてで、ご迷惑をお掛けする事も多々あると思いますが、皆様のお役に立てる様、日々頑張っていきたいと思っています。

また、前職での経験も活かせる機会があれば、活用していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



編集後記



新年度が始まり、あつと言う間の速さで時間が過ぎるので正直驚いております。すぐにゴールデンウィークが到来します。ご予約はお済みですか？世間には多い方で最大十連休がある方もいらっしゃるみたいです。ゴールデンウィーク中は、リフレッシュしつつも日頃運動不足なので、ジョギングなどの軽めの運動から始めて体を動かしたいと思っています。皆さまも充実した素敵な休日をお過ごしください。



施設PR委員会 今月の1枚！



さくら満開！
笑顔も満開！



※お詫びとおことわり
里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。